

【建設キャリアアップシステム（CCUS）】サッシ・カーテンウォール技能者の能力評価基準が認定されましたので受付を開始します（令和元年10月31日認定）

「建設技能者の能力評価制度に関する告示（平成31年3月29日国土交通大臣告示第460号）」及び「建設技能者の能力評価制度に関するガイドライン（平成31年3月29日）」に基づき、サッシ・カーテンウォール技能者の能力評価基準が令和元年10月31日に認定されました。

その後、令和元年度内に登録基幹技能者制度を有する35職種すべての能力評価実施団体において基準が策定され、令和2年度からは、35職種において技能労働者の培ってきた能力・経験に基づく4段階のレベル毎に色分けされたカードの交付が始まりました。

➤ **サッシ・カーテンウォール技能者能力評価基準**（国土交通省 HP より）

<http://www.mlit.go.jp/totikensangyo/const/content/001315576.pdf>

1. 能力評価基準の策定主体

一般社団法人 日本サッシ協会
一般社団法人 建築開口部協会

2. 能力評価基準を策定する目的（建設技能者の能力評価制度に関するガイドラインより引用）

建設キャリアアップシステムに登録・蓄積される情報を活用して、サッシ・カーテンウォール技能者の技能について客観的な評価を行うことにより、

- ① 評価結果を活用して、取引先や顧客に対して技能水準を対外的にPRすることを通じて、価格交渉力の強化を図り、技能に見合った評価や処遇を実現する
- ② キャリアアップに必要な経験や技能を明らかにすることで、サッシ・カーテンウォール技能者のキャリアパスを明確化し、若年層の入職拡大・定着促進を図る
- ③ サッシ・カーテンウォール技能者を雇用する専門工事企業の評価（「専門工事企業の施工能力等の見える化」）と連動させることにより、高い技能を有するサッシ・カーテンウォール技能者を育て、雇用する企業が選ばれる環境を整備し、人材育成と処遇改善の好循環を生み出す
- ④ 技能や経験に裏打ちされたサッシ・カーテンウォール技能者の地位の向上を図り、ひいては建設業全体のイメージアップに資する

ことを目的とする。

3. 能力評価基準の対象とする職種

本基準は、サッシ・カーテンウォール工事に従事する技能者を対象とする。
具体的には、建設キャリアアップシステムが対象とする以下の技能職種。

サッシ工(01) ・ シャッター工(02) ・ 鋼製建具工(03) ・ カーテンウォール工(04)

4. 対象とする技能職種の定義

『サッシ工(01)』

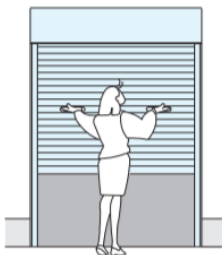


ビル用サッシ施工作業で、建築物の外壁の窓などに使用するサッシは、耐風圧性、気密性、水密性、遮音性、断熱性などの性能を備え、アルミニウム合金製や樹脂製サッシなどがあります。

「サッシ施工職種」とは、サッシの施工に必要な技能・知識を有し、建築物（主としてビル）の開口部に「窓」や「扉」等のビル用サッシを取り付ける作業をいいます。

注）一般的にサッシはビル用サッシ（非木造：鉄骨造、鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造等）と住宅用サッシ（木造住宅）に分類される。

『シャッター工(02)』



シャッターは防犯、防火などを目的とし、大別するとビルに多く使用される重量シャッター、耐火クロススクリーン、住宅や商店に多く使用される軽量シャッター、窓シャッター、倉庫や工場に多く使用される高速シートシャッター、などがあります。開閉方式としては、上下に可動させるタイプが一般的で、横に可動させるタイプもあります。

「シャッター施工職種」とは、シャッターの施工に必要な技能・知識を有し、建築物の外壁開口部、防火区画等へのシャッター取付作業を対象としています。

『鋼製建具工(03)』

サッシ工(01)と同様で、ビル用サッシ施工作業建築物で特に室内に取付けの鋼製建具（スチールドア等）などを取り付ける作業をいいます。

『カーテンウォール工(04)』



カーテンウォールとは帳壁とも呼ばれ、建築構造上取り外し可能な壁であり、建物の自重及び荷重はすべて柱、はり（梁）、床、屋根等で支え、建物の荷重を直接負担しない壁（非耐力壁）をいいます。

カーテンウォールの種類としては、メタル製、コンクリート製などがありますが、ここで対象とする職種としては、主にビルの外装に用いる、メタルカーテンウォール工事に必要な技能・知識を対象としています。

5. サッシ・カーテンウォール技能者能力評価基準について

① サッシ・カーテンウォール技能者能力評価基準を受けるためには

サッシ・カーテンウォール技能者で能力評価を受けようとする技能者は、次のいずれかを利用し申請することができる。

1) レベル判定システムを利用しての申請

建設技能者能力評価制度推進協議会（以下「協議会」という。）が運営する「レベル判定システム」を活用して直接申請する

申請の受付開始時期：令和2年4月1日より受付を開始

レベル判定システムURL：https://noryoku-hyoka.keg.jp/level_1.0.0/portal

2) 日本サッシ協会へ代行申請を依頼

評価事務を行う事務所の一般社団法人 日本サッシ協会（以下「日本サッシ協会」という。）へ指定書類に必要事項を記入して代行申請を依頼する

事務所：一般社団法人 日本サッシ協会

所在地：東京都港区愛宕1丁目3番4号 愛宕東洋ビル7階

担当：ビル業務部

電話：03-6721-5934

評価事務を行う時間：休日を除き、午前9時から午後5時

申請の受付開始時期：令和元年11月25日より受付を開始

【申請者の要件】

能力評価の申請は、建設キャリアアップシステムに技能者登録され、技能者IDを取得している者（以下「技能者」という。）でなければ、これを行うことはできない。

また、技能者の所属事業者、上位下請事業者又は元請事業者（いずれも建設キャリアアップシステムに事業者登録された者に限る。以下「所属事業者等」という。）は、技能者の同意を得て、代行して申請を行うことができる。

【各レベルの基準設定】

保有資格については、建設キャリアアップシステムにおいて、その保有等について確認できるものを能力評価申請書に写しを添えて提出する。レベル1～4の基準の一覧は【別表】を参照のこと。

評価の申請は、建設キャリアアップシステムの運営主体である一般財団法人 建設業振興基金（以下「建設業振興基金」という。）に対する建設キャリアアップカードの交付又は再交付の申請と合わせて行う。

② 技能者が能力評価を受けようとする場合の必要書類

➤ 建設キャリアアップシステム（レベル1：ホワイト色カードの写し）

建設キャリアアップシステムに技能者登録された、技能者IDと「能力評価申請書（別紙様式1）」の記載内容を確認するために提出する。

➤ **能力評価申請書（別記様式1）**

能力評価申請書兼キャリアアップカード（レベル2以上）交付申請書（別記様式1）

建設キャリアアップシステムの利用開始前に、サッシ・カーテンウォール・シャッター工事に従事した経験がある場合は、サッシ・カーテンウォール工事に関する経歴証明書（別記様式 2_所属事業者の証明）を提出する。

➤ **経歴証明書（別記様式2）**

経歴証明書（別記様式2_所属事業者の証明）

経歴証明を行う者は、経歴証明書（別記様式 2_所属事業者の証明）による経歴証明は、所属事業者等が技能者の同意を得て、代行して申請を行うことができる。

また、経歴証明（別記様式 3_一人親方などの方）を受けることが困難な場合は、日本サッシ協会が技能者の所属事業者等に代わって経歴証明を行うこととする。

➤ **経歴証明申請書（別記様式3）**

経歴証明申請書（別記様式3_一人親方などの方）

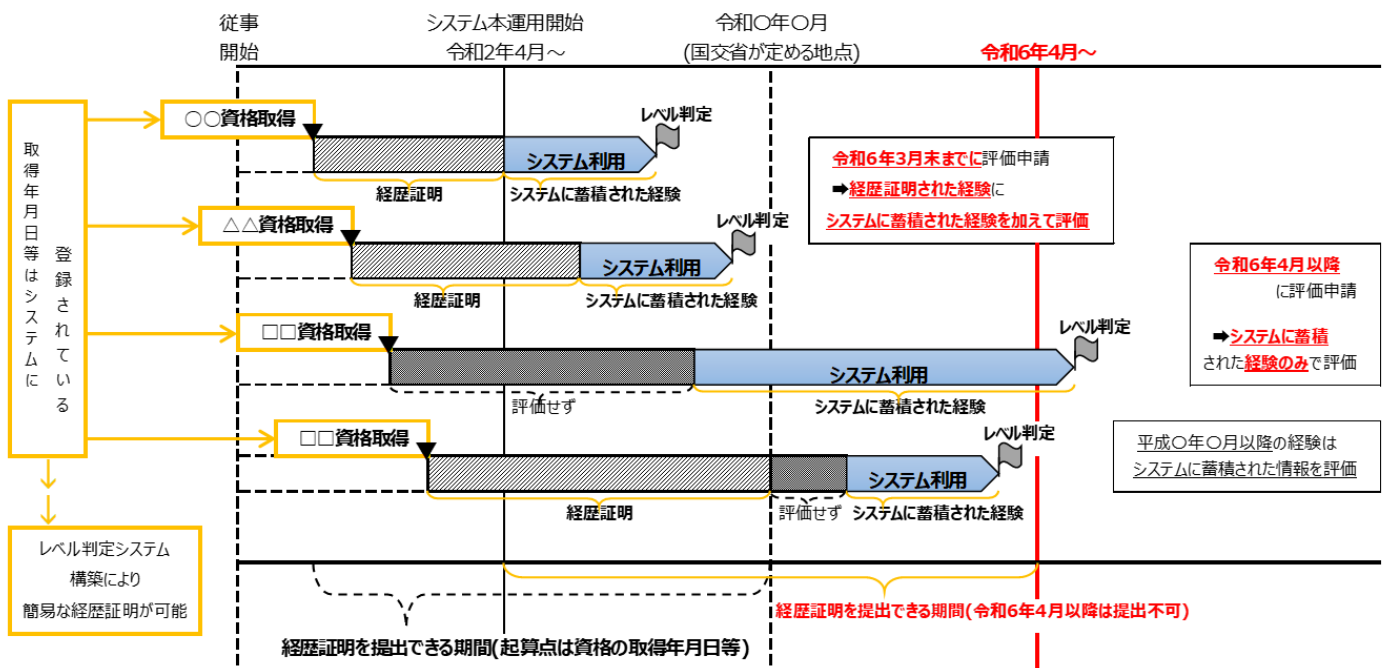
③ 経歴証明書の提出期限と証明できる範囲

経歴証明書は、令和6年3月31日までの間に限り、提出することができる。

経歴証明により証明できる範囲は、建設業に従事した時点から、令和6年3月31日までの間で国土交通省が定める日までとする。当該日後の経験は、建設キャリアアップシステムに蓄積された情報のみを用いて評価する。

また、令和6年3月31日までに提出された経歴証明については、同日より後に行なわれた評価の申請に係る評価に用いることができる。

※ 建設業に従事した時点とは、建設業に従事して最初に取得した建設業に関する資格等の取得年月日等をいう。



④ レベル判定評価結果の通知・評価手数料

【評価結果の通知】

評価の結果で、日本サッシ協会へ代行申請を行った者は、建設業振興基金に対して日本サッシ協会が通知する。

【カードの交付】

評価結果のレベルに応じた建設キャリアアップカードは、建設業振興基金から申請者へ交付される。

【評価手数料】

評価実施に係る手数料と、建設キャリアアップカード更新手数料は、次の申請方法別に定める。

1) **レベル判定システム申請の場合**

申請手数料として技能者一人当たり3,000円（レベル判定費用）+1,000円（キャリアアップカード更新費用）の合計4,000円が必要となり、レベル判定が完了すると、申請時に登録した住所（事業者を想定）に手数料4,000円の請求書が届きますので、2週間以内に支払い（コンビニ支払）する。

2) **日本サッシ協会へ代行申請の場合**

申請手数料として技能者一人当たり3,500円（レベル判定費用）+1,000円（キャリアアップカード更新費用）の合計4,500円が必要となり、日本サッシ協会が指定する金融機関の口座に納付後、「払込取扱票」のコピーを添えて申請する。

※ 郵便振替（郵便局備え付けの用紙にてお振込み）

郵便払込（口座記号番号）：00170=3=559432

加入者名：日本サッシ協会





6. 問い合わせ先

能力評価制度に関すること 03-5253-8283（国土交通省）

レベル1～4の基準に関すること 03-6721-5934（日本サッシ協会）

キャリアアップシステムに関すること 03-6625-4477（レベル判定システムヘルプデスク）

【別表】レベル1～4の基準の一覧

	就業日数	保有資格	職長・班長としての就業日数
レベル4 (ゴールド)	就業日数が 2,150 日 (10 年) 以上である こと。 	<ul style="list-style-type: none"> ●登録サッシ・カーテンウォール基幹技能者 ●優秀施工者国土交通大臣顕彰 ・レベル2、3の基準に示す保有資格 	職長としての就業日数が 645 日 (3 年) 以上であること。
レベル3 (シルバー)	就業日数が 1,505 日 (7 年) 以上である こと。 	<ul style="list-style-type: none"> ●1級ビル用サッシ施工作業技能士 ●1級金属製カーテンウォール工事作業技能士 ・職長・安全衛生責任者教育 ・レベル2の基準に示す保有資格 	職長又は班長としての就業日数の合計が 215 日 (1 年) 以上であること。
レベル2 (ブルー)	就業日数が 645 日 (3 年) 以上である こと。 	<ul style="list-style-type: none"> ●1級又は2級ビル用サッシ施工作業技能士 ●1級又は2級金属製カーテンウォール工事 作業技能士 ●下記の2つ以上の資格 ①職長・安全衛生責任者教育 ②低圧電気取扱特別教育 ③アーク溶接特別教育 ④足場の組立て等作業従事者特別教育又は足場の組立て等作業主任者技能講習 ⑤研削といしの取替え等の業務特別教育 	
レベル1 (ホワイト)	建設キャリアアップシステムに技能者登録をされ、かつ、レベル2から4までの判定を受けていない技能者 		

※ ●印の保有資格は、いずれかの保有で可。